

目指す学校像	みんなの笑顔が輝く学校「ス(進んで学ぶ等)マ(まっすぐな心等)イ(一生懸命等)ル(ルールを守る等)みなみ」
--------	---

重点目標	1 学びの自律化、個別最適化に向けたICTの活用と、思考力・判断力・表現力の向上 2 安心・安全な学校を目指す組織的な対応の強化と安心・安全な教育環境の整備 3 コミュニティ・スクールの円滑な実施と信頼される学校づくり 4 「児童生徒の活動」を意識した授業の実践による教員の指導力向上と学校課題研究(体育)を核とした授業づくり
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価	
年 度 目 標			年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	(現状) ○昨年度の全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに全国、市平均と比べ概ね良好な結果である。 (課題) ○全国学力・学習状況調査の結果分析から、国語の思考力・判断力・表現力等の「書くこと」「読むこと」における記述式の問題に、また、算数も記述式の問題に課題がある。 ○昨年度の国語・算数の自校テストにおいて、「思考力・判断力・表現力」の項目が「知識・技能」の項目よりも課題がある。	・学びの自律化、個別最適化に向けたICTの活用	①金曜朝に「基礎学力パワーアップタイム」を実施し、「ドリルパーク」や「スタディ・サプリ」等を活用した漢字や基礎的な計算等の反復・習熟ができるようにする。 ②全国学力・学習状況調査結果等を分析し、効果的な手立てを設定する。	①月初めの「基礎学力パワーアップタイム」にて児童が学習履歴を確認し、学習計画を設定したり修正したりすることができたか。 ②8月までに分析を行い、授業改善の視点や手立てを学年ごとに設定することができたか。				
		・思考力・判断力・表現力の向上	①「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」の実施により、自力解決や振り返りのプロセス等で自分の考えを表現させる時間を確保する。	①2学期に実施する国語・算数の自校テストにおける「思考力・判断力・表現力」の項目で、昨年度より向上できたか。				
2	(現状) ○昨年度の学校評価アンケートにおける「学校に行くのを楽しみにしている」の項目で、肯定的な評価が児童・保護者・教職員ともに9割を超えていた。 ○昨年度の学校評価アンケートにおける「保健・安全」と「施設・設備」の項目で、肯定的な評価が保護者等・教職員ともに9割近くとなっていた。 (課題) ○屋上の防水、各施設の老朽化、職員室や保健室等にエアコンがないことによる燃料費の問題などが課題である。	・安心・安全な学校を目指す組織的な対応の強化	①児童向けの「心と生活のアンケート面談」と「スマイル週間(本校独自の個人面談)を学期に1回ずつ実施したり、保護者向けの教育相談日を毎月設定したりし、児童が安心して生活できるようにする。 ②毎月実施する定例委員会の2部会(①生徒指導、②教育相談・特別支援教育)において、課題のある児童の情報を共有し、共通理解・共通行動を行う。	①学校自己評価に係るアンケートにおける「学校に行くのを楽しみにしている」「友達と仲よくしている」の項目で、児童の肯定的な評価が9割を超えたか。 ②学校自己評価に係るアンケートにおける「生徒指導」「教育相談」「組織運営」の項目で、肯定的な評価が保護者・教職員ともに9割を超えたか。				
		・安心・安全な教育環境の整備	①全教職員による学期1回の予算委員会や、管理職・事務職員による学期1～2回の予算会議により、予算執行状況を確認し、安心・安全な教育環境を整備する。	①学校自己評価に係るアンケートにおける「施設・設備」の項目で、肯定的な評価が地域・保護者・教職員ともに9割を超えたか。				
3	(現状) ○昨年度、本校学校運営協議会準備委員会を立ち上げ、本校児童に身に付けさせたい力について熟議を行い、「チャレンジする心」を育むことにまとまった。 ○昨年度の学校評価アンケートにおける「情報発信」の項目で、学校HPをリニューアルしたことで肯定的な評価が9割を超えていた。 (課題) ○今年度は、本校学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを実施する。また、本校児童の身に付けさせたい力として挙げられた「チャレンジする心」についてさらに熟議し、その実現に向けた方策を定めていく。 ○昨年度の学校評価アンケートにおける「地域や保護者の思いや願いへの対応」の項目で、肯定的な評価が8割程度にとどまった。	・コミュニティ・スクールの円滑な実施	①委員どうしの関係性を構築するための熟議を実施する。 ②コミュニティ・スクールに関する内容を家庭や地域へ周知する。	①年3回開催する学校運営協議会において毎回、熟議を設定できたか。 ②学校運営協議会を開催した翌月の学校だよりにおいて、コミュニティ・スクールの内容を掲載したか。				
		・信頼される学校づくり	①毎月、学校だより・学校HP等を活用した積極的な情報発信を行う。 ②コロナの感染症対策を徹底した上で、授業参観や懇談会、運動会などの学校行事を積極的に実施し、本校の教育活動について理解を図る。	①学校自己評価に係るアンケートにおける「情報発信」の項目で、肯定的な評価が地域は8割5分、保護者・教職員は8割5分を超えたか。 ②学校自己評価に係るアンケートにおける「家庭・地域との連携」の項目で、肯定的な評価が地域・保護者・教職員ともに8割5分を超えたか。				
4	(現状) ○昨年度に実施した「よい授業アンケート」において市平均よりも0.5ポイント超えている状況である。 ○昨年度に実施した学校課題研究の体育科に関する児童アンケートでは、「体育の授業が好きか」の項目で、肯定的な評価が9割を超えていた。 (課題) ○昨年度に実施した「よい授業アンケート」の「児童生徒の活動」において、12月の結果が6月の結果の0.1ポイント向上にとどまった。 ○体育科に関する児童アンケートによると「よい動きの理解」や「認め合い」に課題がある。	・「児童生徒の活動」を意識した授業の実践による教員の指導力向上と学校課題研究(体育)を核とした授業づくり	①一人1回以上、「児童生徒の活動」を意識した授業を、管理職はじめ教職員に公開する。 ②学年会等で協議し、共通した指導方法等で授業を実践し、よい動きを理解する力や認め合う態度等を高める体育科の授業を実践する。	①「よい授業アンケート」の「児童生徒の活動」において、市平均よりも1.0ポイント向上できたか。 ②体育科に関する児童アンケートにおいて、「よい動きの理解」や「認め合い」の項目で、昨年度よりも1.0ポイント向上できたか。				